

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

豊田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

・豊田地区は、栄区の中で南西の位置にあり、戸塚区と鎌倉市、一部港南区と隣接しております。最寄りの駅は戸塚駅・本郷台駅・大船駅となりますが、ほとんどの方が、バスを利用することになります。平成 30 年 9 月現在の高齢化率は 28.9%(栄区 30.6%)となっております。特に高齢化率の高い本郷台では 40.8%(うち後期高齢化率 23.5%)に達しています。豊田ケアプラザ圏域において、金井町や本郷台 1 丁目等地域によってはケアプラザが遠方であり、身近な地域での見守りや支え合いが一層重要となってきました。地域づくりが求められています。

・また、一方で、要介護認定者や介護度に関して栄区は横浜市平均に比べて、要介護認定者数が少なく介護度も低い傾向にあり、健康志向の高い地域であることが伺えます。介護予防に力をいれ、住み慣れた地域で、いつまでもその人らしい、生活ができるように支援していく必要があります。

・また、高齢者のみでなく、子育て支援においても、母親の孤立防止のため地域の中での繋がりづくりが必要であり、学齢期の子どもについても、居場所がまだまだ少ないという状況や孤食、貧困の課題が豊田エリアの中でも明らかになってきています。

・障がい者においては、地域の中でもまだ理解が少なく、地域の中で見守られながら地域の一員として生活できるよう理解・啓発が必要な状況です。

(1)相談(高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供)

・主に包括・生活支援コーディネーターが定期的に各担当地域の会合やサロン等に出向くことで、地域情報や資源等の情報収集・整理を行うことができ、その結果、相談対応時における適切な他の関係機関への引き継ぎや連携支援に繋がった。子育てカレンダーを 12 か月分発行し、子育て情報を広く提供することができた。また地域の情報紙「ふれあい豊田」にも情報を掲載することができた。

・相談内容を総合相談票に残し、個人情報に配慮した台帳管理を行うことで、初回相談で関わった職員以外でも、2 回目以降の相談において継続的かつ円滑な相談対応に繋がった。

・地区担当を中心に地域のサロンや地域活動に参加し、ケアプラザの機能、事業、介護予防の啓発等を行うことができた。また民生委員や地域活動者との情報交換の機会を作り、個別支援や地域ニーズの把握を行った。

(2)各事業の連携

・生活支援コーディネーターと包括看護師が協力して介護予防兼地域の担い手育成講座「豊田スタイル」を新規開催した。

・概ね 2 月に 1 度のペースで 5 職種での「地域支援連携会議」を開催。各職種からの視点の共有や支援の方向性について検討をおこなった。

地域交流コーディネーターと生活支援コーディネーターを中心に地区別計画推進のため、さえあい連絡会の各委員会に参加。取組が進むよう支援した結果、「こどもの居場所づくり検討会」や「飯島町ちょこボラ検討会」など新しい動きにも繋がった。

(3)職員体制・育成、公正・中立性の確保

各職種とも常勤職員の欠員は無く適切に配置された。
各職種ともケアプラザとしての研修計画を基に、法人としての研修計画と連動し必要な研修、スキルアップ、勉強会等に参加した。
部門ごとにミーティングを行うとともに、ミーティングの場を活用してそれぞれが受講した研修について共有するなどした。
包括をはじめとして、各部門が公正中立を意識して業務に取り組んだ。

(4)地域福祉保健のネットワーク構築

・支え合い連絡会各小委員会の開催前に区・区社協と進捗状況、支援方法の確認を行ったが、定期的な開催にはいたらなかった。
・地区社協との打ち合わせを毎月地区計画の推進、地区社協事業の支援を行った。
・福祉保健計画進捗のため、ささえ合い連絡会の各小委員会の開催を行った。今年度はちよいボラグループ「飯島お手伝い隊」やみんなの居場所「たまり場とよだ」の立ち上げにつながるなど大きな進展があった。
・地域ケア会議や協議体において「8050 問題」など地域内での新たな課題について検討した。今後見守りネットワーク委員会等で継続的に考えていくことになっている。

(5)区行政との協働

・地区支援チーム会議に参加し、計画推進のための協力依頼を行った。
・定例カンファや民生委員、地域活動者からの情報提供により 5 職種で連携し、対応することができた。
・計画等の推進を通じ、関係機関と協働しセーフコミュニティ推進の意識啓発を地域に広げることができた。

2 地域活動交流事業

(1)自主企画事業

・8月を除き茶話会を毎月開催。嗜好を凝らした企画で継続的な参加に繋がり、参加者の生きがいとなるとともに、安否確認の場となっていた。
・サロンへの参加を様々な事業への参加に繋ぎ、各事業への参加者が増えた。またボランティアとして活躍する場を作り出すことができた。登録団体が日頃の活動成果を披露する場を設けることで、生きがい作りにも繋がっている。
・子育てティーサロンや親子の広場ぽっかぽかを開催し、乳幼児親子との交流等の場を提供。また担当している地域ボランティアとの交流を通じて、声をかけ合える関係性作りを行うことができた。
・子育てサークル同士の交流会を利用団体連絡会とは別に開催。各サークル同士のつながりづくりや情報交換等することができた。
・障がい児余暇支援事業を通じ、ケアプラザと障がい児者支援団体と連携することができた。また自立支援協議会を通じて障害関係機関にケアプラザの取り組みを発信することができた。
・民生委員、地域活動者、地域サロン支援者(サロン連絡会)を対象に認知症に対する理解を深める講座を開催した。
・ケアプラザ全体で協働し、高齢者理解のための認知症サポーター養成講座を開催、車いす・高齢者疑似体験、デイサービスとの交流事業を飯島小・豊田小・小菅ヶ谷小の生徒対象に行った。

- ・ケアプラザまつりを豊田地区社協と共催(10/7)。豊田地区センターと連携し、地区センター祭りとの同日に開催。共通スタンプラリーなどにより、ともに参加者増となった。ケアプラザについて普段関わりの少ない地域住民にも周知することができた。また今年度は開設 25 周年を記念し、マスコットキャラクターのお披露目と表彰も合わせて行うことができた。
- ・元気な高齢者を対象とし、介護予防、生きがいづくりを兼ねたボランティア講座「豊田スタイル」を開催。介護予防に意識啓発を行う音が多かった。また新たなボランティアの登録に繋ぐことができた。

(2)福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・広報紙については 4 月からカラー印刷とし、写真を多めにするなど目を引くレイアウトとした。また「豊田の福祉をつたえる広報紙」と位置づけ、ケアプラザのことだけでなく地区内の様々な活動を紹介するようにしたところ、回覧ではあるが地域の方々から非常に好評いただき、「自分の所も載せてほしい」と依頼を受けるまでになっている。
- ・登録団体の活動紹介記事を広報紙に掲載した。既存団体の新たな参加者を募れるよう、また新規登録団体の確保を図った。また会場利用についても広報紙に掲載。イベント情報等も掲載している。
- ・会場利用に関する情報を提供、利用団体からニーズを聞く機会を設けた。避難経路の確認も行った。

(3)ボランティアの育成及びコーディネート

- ・デイサービスやサロンにて活動を披露する場を設けるとともに、福祉保健活動を希望する団体区分Ⅱに対してもボランティア活動を紹介した。
- ・豊田スタイル(傾聴編)の参加者に実習の場としてデイサービスでの活動をしてもらうことができた。その後も継続的なボランティア活動につながった方もいた。
- ・コーディネーター連絡会にて区ボランティアセンターの情報を共有できた。
- ・ボランティア希望者と、ケアプラザ事業や会場利用団体とをマッチングするため、区ボランティア担当と連携して活動先を調整した。
- ・豊田地区内の学生を主な対象とした夏ボラ講座を開催。ボランティア活動先として地域で活動している団体につなげることができた。また、会場利用団体には茶話会等で活動を披露する場を提供。
- ・夏ボラ講座では、活動先として地域活動を提供することで、参加者だけでなく保護者にも地域への関心を広げることができた。
- ・子育てサロン、高齢者向けサロンは地域のボランティアと協働で運営。相互に知り合える機会や参加者が担い手になる等、地域活動者と参加者とのつながりを作った。
- ・研修会や勉強会を通して、ちよいボラグループ「飯島お手伝い隊」やみんなの居場所「たまり場とよだ」の立ち上げができた。継続的に運営を支援していきたい。
- ・ボランティアしてほしい人、ボランティアしたい人と活動団体をマッチングすることができた。
- ・ケアプラザまつりに、会場利用団体や夏ボラ参加者にも参加依頼を行い、活動の場を提供することができた。
- ・よこはまシニアボランティアポイント研修会を開催し。制度を利用し新たな担い手の発掘を行うことができた。
- ・若年性認知症の人と家族の会「笑風の会」を 6 ケアプラザ共催で開催し、当事者を支援するための情報提供や、介護者同士の想いを共有する場を提供することができた。また参加者をケアプラザ事業に繋ぐことができた。

(4)福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・認知症の人も含めた高齢者に優しい地域づくりのため、認知症に対する理解を深める講座をサロン連絡会にて開催。地域の認知症対応型グループホームの協力も得ることができた。
- ・会場利用団体連絡会を開催し、利用者とケアプラザの意見交換、情報共有をすることができた。また会場予約の利便性や団体活動の周知などの理解を深めた。
- ・ボランティア交流会を開催し、個人ボランティア、団体ボランティアの交流を図り、情報提供・交換を行った。また今年度の活動への感謝の意を伝え、次年度以降の活動につなげた。
- ・利用者団体連絡会のアンケート調査により、子育てサークル同士の活動内容等に関するニーズ把握ができた。次年度に向け開催を検討。(再掲)
- ・広報紙を毎月発行。ケアプラザ実施事業や会場利用団体への取材記事を紹介したり、消費者被害の啓発なども掲載した。
- ・ホームページでは、サロンや介護予防事業、広報紙や子育て情報を定期的に発信することができた。

3 生活支援体制整備事業

(1)事業実施体制

- ・毎月、生活支援・地域交流・包括で「地域支援会議を開催し、地域の情報を共有。支援方針等について話し合うことができた。
- ・各地区のサロンや地域活動団体に介護予防の取組について啓発活動を行った。
- ・ちよいボラ活動についての勉強会を継続開催。結果として10月から「飯島お手伝い隊」の活動が立ち上がり、“ちょっとした困り事”のお手伝いがはじまっている。
- ・包括、地域交流と連携し、担い手、生きがいづくりを目的としたボランティア講座「豊田スタイル」を実施した。新たな担い手や地域活動の参加へつなげることができた。

(2)地域アセスメント(ニーズ・資源の把握・分析)

- ・包括に相談内容分析を行い、地区内で町別に民生委員との情報交換会を行った。また配食サービス積み木との情報交換も行っている。
- ・本郷台見守りネットワーク委員会との定期的な情報交換も定期的に行っている。生活上の困りごとの把握や個別支援、地域ケア会議につなぐことができた。
- ・地区担当を中心に各サロンに参加し、活動状況について把握することができ、今後の支援方針等について検討することができた。

(3)連携・協議の場

- ・連絡会を開催し「認知症の理解と対応」講座を実施した。また介護予防のスキルアップ、情報交換の場を設けた。
- ・「誰もが集える場」「生きがいを持てる場」についての勉強会、検討会を昨年度から継続して開催した。結果として「飯島お手伝い隊」「たまり場とよだ」のたちあげにつながった。
- ・ちよこボラ連絡会を社協、6 ケアプラザ共催した。すでにかつどうしている団体だけでなく、今後実施予定、検討予定の団体の参加も得ることができた。
- ・地域ケア会議を開催し、「8050問題」など新たな地域課題について情報提供し考えてもらうことができた。また栄消防署と連携し、救急隊の搬送等について現状を伝え、考えてもらうことができた。
- ・サービスB支援として、NPO 積み木との情報交換の場を複数回持つとともに、他区のサービスB支援を行っているケアプラザや区社協との情報交換会を開催、サービスBの現状把握や課題について検討した。

(4)より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・区社協、栄区 6 地域ケアプラザと共催し、ちょこボラ連絡会を開催した。活動団体だけでなく、活動を検討している団体にも参加依頼を行い、活動の検討へつなげることができた。
- ・認知症に関する出前講座を地区社協、支えあい連絡会見守りネットワーク委員会、包括と協働し行った。また「認知症の理解講座」を豊田地区にある GH の協力を得て開催し、サロン従事者へのスキルアップへつなげることができた。
- ・区社協や栄区 6 地域ケアプラザで協力し、「ちょこボラ団体リスト」を作成。区内の活動しているちょこボラグループの情報を民生委員や CM 等に広く周知した。

4 地域包括支援センター運営事業

(1)総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・生活支援コーディネーターと協力し、豊田地区民生委員との懇談会を町別(飯島町、飯島団地、本郷台、長沼町、金井町)に開催。町ごとの細かい情報交換を行った。
- ・豊田地区民生委員と地区内ケアマネジャーとの懇談会を開催。民生委員の業務についての説明や、意見交換とネットワーク構築を行った。
- ・豊田地区薬剤師会(6 薬局)とケアマネジャー・サービス事業所(訪問看護・ヘルパー)との懇談会を開催し、介護・医療双方における現状の課題と情報共有を行い、今後に向けた連携や協力体制の構築を行った。
- ・地域関係者(民生委員等)やケアマネジャーから相談を受けたケースに関しては、区・包括・ケアマネジャー・民生委員などの関係者間でカンファレンスを開催し、連携した支援を行うことを目的としてネットワークの構築を行った。
- ・地区担当制により、各職員が担当地域の会合やサロンに出向くことで、地域住民や地域の関係者から、気軽に包括やケアプラザに相談してもらえる体制に繋がった。

②実態把握

- ・主に個別相談や関係機関(民生委員等)から寄せられた相談内容をデータで分析し、各地域における相談傾向を数値で把握した。
- ・定期的に豊田地区見守りネットワーク委員会に参加することで、地域関係者との情報交換および情報共有を行った。
- ・NPO 法人積み木(サービス B 含む)や民生委員との情報交換会を開催し、高齢者の生活状況の把握と情報共有を行った。
- ・運営協議会や支えあい連絡会などの会議を通じて、地域関係者との意見交換や情報交換・地域状況の把握を行った。
- ・地域サロン等における出前講座(介護予防・消費生活など)を通じて、地域住民のケアプラザに対する要望に限らず、各地域における支援が必要な高齢者に関する把握に繋がった。
- ・地域支援会議(月 1 回)を開催し、生活支援コーディネーターと地域交流・包括にて、地域のインフォーマルサービス(介護保険外)の情報収集と共有・整理を行った。
- ・一人暮らし高齢者の見守り訪問を行い、民生委員と情報共有・交換を通じて、独居高齢者の生活状況の把握を行った。

③総合相談支援

- ・区担当者(SW・看護師・保健師)と定例カンファレンスを開催し(月1回)、個別ケースの共有と支援方法について検討を行った。ケアマネジャーやサービス事業者・地域関係者から相談を受けた困難ケースについては、カンファレンスを開催し、関係機関と連携・協力しながら継続的な支援を行った。(随時)
- ・相談記録については個人情報に配慮した台帳管理を行い、包括職員が継続的かつ円滑に個別支援が行える体制とした。(通年)
- ・相談内容に応じて、介護保険等の制度以外にも、地域の事業や活動、ケアプラザの事業に関する情報提供を行った。支援が必要な高齢者や家族については、包括からの個別連絡や訪問等により、事業への参加や状況把握を行うための取り組みを行った。

(2)権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・月ごとに区内6ケアプラザ持ち回りで権利擁護相談会を開催した。(11/25)
- ・司法書士にご協力いただき、地域の方向けに成年後見制度を理解するための講座を行った(9/25)
- ・地域のサロン等へ出向き、包括の相談機能等の普及啓発を行った。
- ・民生委員や地域住民・ケアマネジャーの相談から必要に応じ、市・区役所・区社会福祉協議会、成年後見制度関連機関や消費生活総合センターなどに繋ぎ、連携支援を行った。
- ・個別相談に生かせる専門家との関係づくりを推進するために、区の成年後見サポートネット及び分科会への参加を行った。

②高齢者虐待への対応

- ・定例カンファレンスにて区と虐待ケースを一覧化することで毎月の変化や状況を把握し、動きのあるケースについては、区との役割を確認し対応を行った。
- ・区内の地域包括支援センター共催にて、サービス事業所を対象とした出前講座を開催した。(年3回)
- ・月1回、介護者の集いの開催し、家族の介護状況を把握することで、虐待防止に取り組んだ。虐待が心配されるケースについては、定期的に包括職員が自宅訪問を実施した。
- ・区と協働し、虐待防止指針に沿ってネットワークミーティングの開催や緊急対応を行い、介護保険等のサービス利用に繋げるための支援やケアマネジャーに対するフォローを行った。

③認知症

- ・認知症予防プログラム「スリーAプログラムの会」認知症予防教室を開催した。(年24回)
- ・認知症予防プログラム「AIAIAIの会」を飯島町内会館で実施し、認知症予防の普及啓発を行った。(年12回)
- ・区内地域包括支援センターおよび地域交流部門と協働し、若年性認知症のつどいを開催し、本人の居場所の提供と家族支援を行った。
- ・介護者の集い「お茶べりサロン・クローバー」で認知症の方が作業を行う等、本人が参加できる支援体制をとり、本人の居場所の提供と家族支援を行った。
- ・地域活動交流部門と協働して、小学生に向けて認知症サポーター養成講座を実施した。
- ・サロン運営や地域向けに認知症講座を開催し、地域にむけて認知症の知識啓発を行った。(ハッピーランチ、サロンドアイ)
- ・グループホームの協力を得て、認知症対応講座を開催した。(年1回)
- ・区と協力して、徘徊ネットワークの普及および活用に関与する取り組みを行った。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

・豊田地区民生委員と包括・ケアマネジャーとの懇談会を開催し、地域関係者との情報共有と今後に向けたネットワークづくりを行った。

・担当地域の会合等に参加することで、民生委員や地域関係者間において、支援が必要な高齢者の情報交換・共有を行い、今後に向けた協力体制づくりを行った。

・地域ケア会議を一つのツールとして活用し、地域における認知症高齢者に対する関わりの現状と今後に向けた支援方法について、地域の関係機関・関係者間で検討を行った。

・ケアポート田谷、笠間 CP との共催により、地域住民に向けて認知症理解講座、リハビリテーションについての講座、運動機能についての講座を開催した(年 3 回)。

・区生活支援課と協力し、生活困窮者自立支援制度に関する勉強会を、民生委員を中心とした地域住民向けに開催した(年 1 回)。

・区と役割分担し、地域の小規模多機能居宅事業所(1 施設)・グループホーム(4 施設)・地域密着型通所介護施設(2 施設)の運営推進会議に参加し、情報共有と情報発信を行った。

② 医療・介護の連携推進支援

・豊田地区のクリニック医師との顔の見える関係作りを行うために、ケアマネジャー・サービス事業所向けの研修会を開催した。(年 1 回)

・豊田地区薬剤師会とケアマネジャー・サービス事業所との懇談会を開催し、介護・医療双方の課題および情報共有を行い、今後の連携方法や協力体制づくりを行った。(年 2 回)

・区在宅医療相談室との共催により、精神科の医師を講師に招き、ケアマネジャー・サービス事業所向けの事例検討会を開催した。グループワークを通じて、関係者間での顔の見える関係づくりを行った。(年 1 回)

③ ケアマネジャー支援

・介護報酬改定やサービス B に関する知識の習得を目的として、ケアマネジャー向けの研修会を開催した。(年 2 回)

・区在宅医療相談室との共催により、精神科医師を講師に招き、ケアマネジャーのスキルアップを目的とした認知症高齢者の支援方法に関する事例検討会を行った。(年 1 回)

・地域において増加傾向にある独居高齢者や高齢者世帯の日常生活を支える日常の安否確認や最新の緊急通報システムに関する勉強会を行った。(年 1 回)

・ケアマネジャーから相談を受けた支援困難ケースについては、区との協働によりカンファレンスを開催し、関係者・関係機関における役割分担を行い、必要に応じてケアマネジャーと同行訪問を行い、本人・家族の生活状況の把握とカンファレンスで話し合った内容に基づき、様々なアプローチを行うことで、解決に向けた支援を行った。(随時)

・区内 6 包括の主任ケアマネジャーと協力し、新任・就労予定、就労中ケアマネジャーを対象とした研修会を開催した。(①ケアマネジャー業務について②福祉機器支援センター見学会③ハートページの読み方)

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

・地域ケア会議の開催を通じて、主に地域における認知症高齢者の支援について、区、包括、自治会、民生委員、ケアマネジャー、医療関係者、サービス事業所等の多職種と検討を行った。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)
<ul style="list-style-type: none">・要支援 1・2 と認定された地域の高齢者が日常生活においてご自身で出来ることを続けながら生活を継続して送っていただけるように、自立支援に重点をおいた支援を行った。委託ケースにおいても、出来る限り初回訪問時、更新時に同席し、予防プランの確認と必要な助言を行った。(通年)・地域との繋がりを切らさずに日常生活が続けられるように、地域のサロンやサービス B などを取り入れた予防プラン作成を行った。所内の予防プランナーと委託先のケアマネジャーにも地域資源の情報提供を行った。・サービス利用の決定に関しては、利用者の意向を尊重し、公正・中立的な立場で偏りのないサービス事業所の選定による支援を行うために、サービス開始前における複数のサービス事業所等の情報提供を行った。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
<ul style="list-style-type: none">・介護予防の普及のため介護予防プログラムを実施した。・生活支援、地域交流と共催で介護予防と地域デビュー講座「豊田スタイル」を『スマホ・デジタル編』『DIY 編』『飯島ひかりが丘編』の 3 回実施した。・転倒予防教室「豊田スクエアステップ」を定期的に開催した。(年 24 回)・地域の認知症予防を目的にケアプラザで「スリー A プログラムの会」を開催した。・豊田スリー A プログラムの会・月 2 回、AIAIAI の会(飯島町内会館)・月 1 回・地域の方が認知症予防に意識し、予防できるように、飯島町内会館で認知症予防ゲーム「スリー A プログラム」を開催した。・けやきの会、長沼ことぶきサロンにて口腔ケア出前講座を実施した。・ご近所茶話会、サロンドアイなどにて栄養かるたを実施した。・地域の介護予防、健康づくりを目的に区と協力しながら、元気づくりステーション事業の支援、フォローを行った。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分
施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・施設管理標準を作成し、管理標準に沿って日常的に職員による目視等点検や異常の早期発見に努め、月 1 回各部屋のチェックを行いました。さらに専門業者による保守及び定期点検を行い、適正な維持管理に努めました。
- ・老朽化や付属設備の耐用年数が近づいてきたものが多くあり、施設全体における修繕の必要な個所を把握し、冷温水機の交換等、区と協議しながら計画的に修繕を行いました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・昨年度に引き続き、入札による管理委託費のコストダウン、管理標準導入による光熱水費等一般管理費削減、職員の超過勤務抑制などにより経費の削減に努めました。
- ・業務マニュアルの利用や業務を見直し、施設の効率的な運営を行い、情報共有や、部門間の連携・協働を行うことで、より効果的な事業を展開してきました。

(3) 苦情受付体制について

- ・苦情解決については、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会苦情解決規則に基づいて受付担当者(常勤職員 1 名)と実務責任者(所長)を置き、苦情の適切な解決に努めました。
平成 30 年度は苦情がありませんでした。
- ・法人内他施設で起きた苦情についても、職員会議等で共有し、苦情発生の予防につとめました。

(4) 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

- ・施設内独自の緊急連絡網と事故対応マニュアルにより、火災、自然災害、事故等、様々な緊急事態に、迅速かつ的確に対応できるよう備えました。防災訓練は、年間 2 回実施し、通所介護利用者や館内利用者も含め行いました。防犯に関しては、夜間の戸締りチェックを行うとともに、機械警備により防災・防犯に取り組みました。また、法人全体としても緊急連絡網と災害発生時等の職員配置体制ガイドラインを設け、組織全体で自然災害等、不測の事態に対応できる体制を整えました。
- ・機械警備について、緊急通報システムを追加し、不審者対応等の際に速やかに警備会社に通報できるシステム構築を行っているとともに、施設入口に防犯カメラも設置しています。
- ・防災拠点・特別避難場所としての機能が十分発揮できるよう、備蓄庫や備蓄物品の点検、職員対応の検討を行いました。
- ・特別避難場所開設訓練を実施し、特別避難場所避難物資保管場所の確認や立ち上げシミュレーションを行い、職員全体で共有しました。

(5) 事故防止への取組について

- ・施設の利用者に対して、転倒や事故防止に努めてまいりました。当施設で作成した緊急時対応マニュアルの再読を職員に喚起して事故防止への意識を高めました。
- ・法人全体の地域ケアプラザにおける事故事例を共有し、注意喚起を図りました。
- ・ヒヤリハット事例についても職員間で共有し、事故防止に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

・「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程及び個人情報保護に関する方針」に基づき、全職員が統一した認識とルールによって個人情報の保護にあたるよう努めました。また、職員全員を対象にした個人情報保護に関する所内研修を実施し、意識啓発を図りました。さらに、法人内他施設で個人情報漏えいの事例が発生した場合は、職員間で情報共有を行い、個人情報漏えいの予防に努めました。

・郵便物発送時や、FAX送信時にはダブルチェックを徹底し、誤送付防止に努めました。FAX送信記録簿を作成し、誤発信等の事故予防に努めました。

(7) 情報公開への取組について

・市民等から情報公開請求があった場合には、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する情報の公開に関する規程及び同規程施行規則により、一定の決まりに沿ってこれに対応する体制で臨みました。

・豊田地域ケアプラザに関する情報(事業計画・報告、広報紙など)は、ホームページ上で公開しました。

(8) 人権啓発への取組について

・職員全体会議において人権研修を実施し、非常勤を含めた職員全体の人権に対する意識啓発を図りました。

・法人で開催される人権研修に職員が参加し、研修報告を供覧。職員の人権意識向上を図りました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

・横浜市資源循環局の推進するゴミの減量と分類に呼応し、廃紙やファイルの再利用事業ゴミの分別に日常的に取り組みました。また、事務用品も再生紙などリサイクル品の使用を積極的に進めました。

・日常的に冷暖房時の適正な温度管理や使用していない部屋の消灯を行い、貸館に関しても施設利用者にご理解とご協力を求め、なお一層の省エネルギーに努めました。また、グリーンカーテン設置による環境への配慮、太陽光発電の実施、夏のライフスタイル(軽装での勤務)の期間延長にご理解とご協力をいただき、事務所の冷暖房に係る光熱費の節減など身近なところから省エネルギーに徹した取組みを行いました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 主任ケアマネジャー	1名	(常勤兼務)
保健師等	1名	(常勤兼務)
社会福祉士	2名	(常勤兼務)
社会福祉士	1名	(非常勤専任1名)
介護支援専門員	2名	(非常勤専任2名)

《目標に対する成果等》

- ・要支援 1・2 と認定された高齢者が生活目標を持ちながら日常生活を送っていただけるように、利用者と家族との協同作業による介護予防プランの計画に努め、目標達成のために必要なサービス提供及び支援を行いました。
- ・住み慣れた地域で地域の方々との繋がりを持ち続けながら生活を送っていただけるよう、地域のインフォーマルサービス(介護保険外サービス)も交えながら介護予防プランの作成を行いました。
- ・サービス決定に関しては利用者の意向を尊重し、偏りのないサービス事業所の選定による支援を行いました。
- ・介護予防委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との日常的な情報交換および情報伝達を行い、定期的に介護予防プランの内容やサービス内容を確認しながら支援を行いました。

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

- ・担当者が、サービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その利用した公共交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・地域活動交流部門と生活支援コーディネーターと協力しながら、介護予防事業者や地域のインフォーマル活動団体との関係づくりを行い、サービスBの活動に対し助言及び支援を実施しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
222	221	225	233	246	240
10月	11月	12月	1月	2月	3月
253	241	235	246	262	251

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 介護支援専門員 1名(常勤専任1名)
 介護支援専門員 3名(非常勤専任3名)

《目標に対する成果等》

- ・利用者・家族の話をしっかり傾聴し、利用者のニーズや意向に基づいたケアマネジメントを実践しました。
- ・利用者がサービス利用に際して、適切な判断ができるように専門用語を多用せずわかりやすい説明を行いました。
- ・介護支援専門員のケアマネジメントの向上を図り、また抱えた課題を組織で解決し、解決のノウハウを蓄積しました。
- ・個人情報を取り扱いには細心の注意を図り、個人情報保護に努めました。
- ・法令遵守し、安定した介護報酬を確保に努めました。

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

- ・担当者が、サービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その利用した公共交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・横浜市社会福祉協議会運営のメリットを活かし、地域住民のボランティア活動等インフォーマルサービスの情報を共有し、利用者のニーズに応じて介護保険サービスのみならず、インフォーマルな活動と連携したコーディネートを行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
126	125	131	139	138	134
10月	11月	12月	1月	2月	3月
134	136	137	133	134	129

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

送迎／食事／生活相談／介護サービス／入浴／レクリエーション／健康チェック

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

● 基本額

介護度	1割負担	2割負担
要介護1	599円	1,197円
要介護2	708円	1,415円
要介護3	816円	1,632円
要介護4	926円	1,851円
要介護5	1,034円	2,067円

● 加算額

	1割負担	2割負担
サービス提供体制強化加算 I イ	20円	39円
入浴加算	54円	108円
食費負担	750円(キャンセル料 500円)	

《事業実施日数》 週7日 年末年始を除き年間 359日

《提供時間》 10:15～15:20

《職員体制》

管理者	1名(常勤)	＜1日の配置モデル＞	
生活相談員	2名(常勤)	生活相談員	1～2名
介護員	14名(非常勤)	介護員	4～6名
看護師(機能訓練指導員)	3名(非常勤)	看護師	1名
送迎運転員	4名(非常勤)	送迎運転員	2名
調理員	5名(委託)	調理員	2名

《目標に対する成果等》

- ・「自立支援」と「重度化防止」を軸に、コミュニケーション(人との関わり)を大切にしたサービス提供を行いました。
- ・介護保険関係の各種法令・通達について情報収集し、法令遵守に努めました。
- ・介護技術をはじめ、専門職として必要な技術・知識の向上に努めました。
- ・快適な環境を目指し整備を行いました。
- ・ご利用者の安全・安心の確保のため、スキルアップ研修、リスクマネジメント研修を行いました。また、各種会議を利用し、ヒヤリハットを活用した事故予防対策、感染症予防対策、最新制度について情報を共有しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・午後浴を導入し、ご利用者の自立度にあわせ、自分でできることに取り組んでいただくとともにゆっくりと入浴いただける様にしました。
- ・音楽(ピアノ演奏、ハーモニカ、カラオケ、キーボード演奏等)や、俳句、囲碁・将棋・麻雀・折り紙など、ボランティアの方々のご協力を得て、ご利用者の幅広いご希望に対応できるようにしました。

- ・自立支援に向け、デイルームのレイアウト変更を行い、ご利用者さんに安全に行動していただけるよう。動線の確保を行いました。
- ・地域との連携を大切に、小中学校等の福祉教育や初めてボランティアする方も積極的に受け入れ、福祉の体験の場としての提供を行いました。

《利用者実績(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。

【単位:人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
564	600	588	568	552	549
10月	11月	12月	1月	2月	3月
602	630	544	513	532	568

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

送迎／食事／生活相談／介護サービス／入浴／レクリエーション／健康チェック

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

● 基本額

	1割負担	2割負担
要支援1	1,766円	3,531円
要支援2(週1回利用)	1,766円	3,531円
事業対象者、 要支援2(週2回利用)	3,621円	7,241円

● 加算額

サービス提供体制強化加算Iイ	1割負担	2割負担
要支援1	78円	155円
要支援2(週1回利用)	78円	155円
事業対象者、 要支援2(週2回利用)	155円	309円
食費負担	750円(キャンセル料500円)	

《事業実施日数》 週7日 年末年始を除き年間359日

《提供時間》 10:15～15:20

《職員体制》

管理者	1名(常勤)	＜1日の配置モデル＞	
生活相談員	2名(常勤)	生活相談員	1～2名
介護員	14名(非常勤)	介護員	4～6名

看護師(機能訓練指導員)	3名(非常勤)	看護師	1名
送迎運転員	4名(非常勤)	送迎運転員	2名
調理員	5名(委託)	調理員	2名

《目標に対する成果等》

- ・「自立支援」と「重度化防止」を軸に、コミュニケーション(人との関わり)を大切にサービス提供を行いました。
- ・介護保険関係の各種法令・通達について情報収集し、法令遵守に努めました。
- ・介護技術をはじめ、専門職として必要な技術・知識の向上に努めました。
- ・快適な環境を目指し整備を行いました。
- ・ご利用者の安全・安心の確保のため、スキルアップ研修、リスクマネジメント研修を行いました。また、各種会議を利用し、ヒヤリハットを活用した事故予防対策、感染症予防対策、最新制度について情報を共有しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・午後浴を導入し、ご利用者の自立度にあわせ、自分でできることに取り組んでいただくとともにゆっくりと入浴いただける様にしました。
- ・音楽(ピアノ演奏、ハーモニカ、カラオケ、キーボード演奏等)や、俳句、囲碁・将棋・麻雀・折り紙など、ボランティアの方々のご協力を得て、ご利用者の幅広いご希望に対応できるようにしました。
- ・自立支援に向け、デイルームのレイアウト変更を行い、ご利用者さんに安全に行動していただけるよう。動線の確保を行いました。
- ・地域との連携を大切に、小中学校等の福祉教育や初めてボランティアする方も積極的に受け入れ、福祉の体験の場としての提供を行いました。

《利用者実績(契約者数)》※ 単位は省略してください。 【単位:人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
108	117	102	101	134	142
10月	11月	12月	1月	2月	3月
151	142	143	139	148	177

平成30年度「豊田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,622,754	△ 604,521	16,018,233	16,622,754	△ 604,521	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	242,660	△ 242,660	
雑入	0		0	223,868	△ 223,868	自主事業参加費
印刷代	0		0	45,698	△ 45,698	印刷機使用料
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理充当分)	0		0	178,170	△ 178,170	公衆電話代、秋祭り祝金
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	1,977,500		1,977,500	1,977,500	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	1,535,826		1,535,826	1,535,826	0	
収入合計	20,136,080	△ 604,521	19,531,559	20,602,608	△ 1,071,049	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,501,000	0	11,501,000	10,047,473	1,453,527	
本俸	8,188,000		8,188,000	7,408,944	779,056	
社会保険料	800,000		800,000	580,736	219,264	
手当計	1,000,000		1,000,000	1,553,238	△ 553,238	
健康診断費	20,000		20,000	14,175	5,825	
勤労者福祉共済掛金	15,000		15,000	6,750	8,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,478,000		1,478,000	483,630	994,370	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,703,000	0	1,703,000	2,741,095	△ 1,038,095	
旅費	20,000		20,000	8,562	11,438	
消耗品費	695,000		695,000	357,815	337,185	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	200,000		200,000	464	199,536	
通信費	200,000		200,000	295,798	△ 95,798	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	345,087	△ 245,087	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	16,969	83,031	
職員等研修費	10,000		10,000	12,726	△ 2,726	
振込手数料	48,000		48,000	0	48,000	
リース料	250,000		250,000	146,269	103,731	
手数料	0		0	1,546	△ 1,546	
地域協力費	80,000		80,000	64,000	16,000	
その他	0	0	0	1,491,859	△ 1,491,859	
事業費	434,000	0	434,000	616,414	△ 182,414	
運営協議会経費	42,000		42,000	43,301	△ 1,301	
指定管理料充当 事業	392,000		392,000	573,113	△ 181,113	
管理費	5,578,000	0	5,578,000	5,549,096	28,904	
建築物・建築設備点検		0	0	0	0	
光熱水費	3,069,000	0	3,069,000	2,882,067	186,933	
電気料金	1,069,000		1,069,000	0	1,069,000	
ガス料金	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	
水道料金	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	
清掃費	1,000,000		1,000,000	770,540	229,460	
修繕費	474,000	0	474,000	334,882	139,118	
機械警備費	200,000		200,000	179,172	20,828	
設備保全費	835,000	0	835,000	819,921	15,079	
空調衛生設備保守	300,000		300,000	467,631	△ 167,631	
消防設備保守	20,000		20,000	18,003	1,997	
電気設備保守	40,000		40,000	45,049	△ 5,049	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	20,479	9,521	
駐車場設備保全費	0		0	268,759	△ 268,759	
その他保全費	445,000		445,000	0	445,000	
共益費	0		0	119,448	△ 119,448	
その他	0		0	443,066	△ 443,066	
公租公課	920,080	0	920,080	803,797	116,283	
事業所税			0	0	0	
消費税	920,080		920,080	803,797	116,283	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	20,136,080	0	20,136,080	19,757,875	378,205	
差引	0	△ 604,521	△ 604,521	844,733	△ 1,449,254	

自主事業費収入	264,000		264,000	242,600	21,400	自主事業への参加料等
自主事業費支出	264,000		264,000	573,113	△ 309,113	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 330,513	330,513	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「豊田地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	28,897,000	0	28,897,000	28,897,000	0	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業 (包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業 (介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業 (生活支援)	0		0	94,100	△ 94,100	
自主事業収入			0	94,100	△ 94,100	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	2,035,000		2,035,000	2,035,000	0	
収入合計	36,872,000	0	36,872,000	37,060,200	△ 188,200	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	27,358,065	5,330,935	
本俸	23,904,000		23,904,000	13,913,100	9,990,900	
社会保険料	4,500,000		4,500,000	3,452,931	1,047,069	
手当計	2,700,000		2,700,000	7,905,487	△ 5,205,487	
健康診断費	50,000		50,000	55,125	△ 5,125	
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	26,250	8,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,500,000		1,500,000	2,005,172	△ 505,172	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,303,000	0	1,303,000	967,914	335,086	
旅費	100,000		100,000	31,249	68,751	
消耗品費	250,000		250,000	47,254	202,746	
会議滞在費	0		0	0	0	
印刷製本費	250,000		250,000	0	250,000	
通信費	150,000		150,000	214,073	△ 64,073	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	133,000		133,000	345,087	△ 212,087	
図書購入費	20,000		20,000	0	20,000	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	4,511	45,489	
職員等研修費	50,000		50,000	25,382	24,618	
振込手数料	50,000		50,000	0	50,000	
リース料	200,000		200,000	0	200,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	50,000		50,000	0	50,000	
その他	0	0	0	300,358	△ 300,358	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	919,032	270,968	
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	
指定管理料充当 事業 (包括)	100,000		100,000	22,815	77,185	
指定管理料充当 事業 (介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	
指定管理料充当 事業 (生活支援)	309,000		309,000	262,217	46,783	
管理費	1,901,000	0	1,901,000	1,508,371	392,629	
建築物 建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	900,000	0	900,000	766,118	133,882	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	250,000		250,000	204,826	45,174	
修繕費	126,000		126,000	89,018	36,982	
機械警備費	100,000		100,000	47,628	52,372	
設備保全費	525,000	0	525,000	217,950	307,050	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	124,306	△ 24,306	
消防設備保守	50,000		50,000	4,785	45,215	
電気設備保守	60,000		60,000	11,975	48,025	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	5,443	44,557	
駐車場設備保全費	0		0	71,441	△ 71,441	
その他保全費	265,000		265,000		265,000	
共益費			0	31,752	△ 31,752	
その他			0	151,079	△ 151,079	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一三対応費			0	0	0	
支出合計	37,083,000	0	37,083,000	30,753,382	6,329,618	
差引	△ 211,000	0	△ 211,000	6,306,818	△ 6,517,818	

自主事業費収入	0		0	94,100	△ 94,100	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	436,032	△ 436,032	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 341,932	341,932	

管理許可 目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可 目的外使用許可支出			0		0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可 目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:豊田地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	12230	5309	6921	23305	18836	4469	77402	69278	8124			0	
	その他	0	8314	-8314	0	0	0	101	167	-66	0	0	0	
	介護予防ケアマネジメント費		8314	-8314			0			0			0	
	事業・負担金収入			0			0		61	-61			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
		その他			0			0	101	106	-5			0
		収入合計(A)	12230	13623	-1393	23305	18836	4469	77503	69445	8058	0	0	0
支出	人件費	4065	4365	-300	16605	17151	-546	50258	47806	2452			0	
	事務費	23	11	12	170	54	116	310	344	-34			0	
	事業費	50	64	-14	1224	1062	162	22111	22249	-138			0	
	管理費			0			0			0			0	
	その他	6571	6989	-418	4781	0	4781	2894	619	2275	0	0	0	
	利用者負担軽減額			0			0		61	-61			0	
	消費税			0			0			0			0	
	介護予防プラン委託料	6571	6989	-418			0			0			0	
				0			0			0			0	
		その他			0	4781		4781	2894	558	2336			0
	支出合計(B)	10709	11429	-720	22780	18267	4513	75573	71018	4555	0	0	0	
	収支(A)-(B)	1521	2194	-673	525	569	-44	1930	-1573	3503	0	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市豊田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ご近所茶話会	高齢者	72,957	地活	42,157	30,800			58,957	14,000
	30名		包括						
	100円		介護						
			生活						
ご近所茶話会(昼食会)	高齢者	40,166	地活	19,666	20,500			40,166	
	30名		包括						
	600円		介護						
			生活						
子育てティーサロン	未就園児と保護者	97,656	地活	97,656			57,500	7,956	32,200
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
あそび場テラス	子育てサークル	18,043	地活	14,343	3,700			18,043	
	10団体		包括						
	100円(子ども一人)		介護						
			生活						
障害児余暇支援事業	小・中学生(障害児)	27,793	地活	17,793	10,000			26,393	1,400
	15名		包括						
	300~500円		介護						
			生活						
身近な地域でボランティア 豊田夏ボラ講座	中学生以上	10,554	地活	10,554				10,554	
	50名		包括						
			介護						
			生活						
豊田地域ケアプラザ秋祭り	地域住民	188,230	地活	10,570		177,660		174,534	13,696
	500名		包括						
			介護						
			生活						
ボランティア交流会	ケアプラザボランティア活動者	15,438	地活	15,438				12,718	2,720
	50名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ケアプラザ便りの発行	地域住民	100,000	地活	50,000					50,000
			包括	10,000					
			介護						
			生活	40,000					
豊田スタイル	地域住民(概60歳以上)	79,521	地活	11,596	19,800		8,000	2,096	1,500
	20名		包括						
	100~500円		介護	21,066					
			生活	27,059					
サロン連絡会	豊田地区サロン	8,693	地活	693			8,000	693	
	15名グループ		包括						
	無料		介護	8,000					
			生活						
会場利用団体連絡会	会場利用登録団体	9,634	地活	9,634					9,634
	73団体		包括						
	無料		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市豊田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
子育てサロンぽっかぽか	未就園児と保護者	15,400	地活	15,400					15,400
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ガーデニング部	地域住民	25,388	地活	1,346				1,346	
	20名		包括	5,634				5,634	
	無料		介護						
			生活	18,408				18,408	
たまり場とよだ	地域住民	2,807	地活	2,807				2,807	
	150食		包括						
	大人 300円		介護						
			生活						
介護者の集い お茶べりサロンクローバー	介護者 当事者	8,989	地活						
	20名		包括	1,500				1,500	
	実費		介護						
			生活	1,789	5,700			7,489	
地域ケア会議	専門職 地域住民	0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
虐待出前講座	福祉関係者	0	地活						
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
豊田スクエアステップ	地域住民	24,316	地活						
	30名		包括						
	無料		介護	24,316			796	23,520	
			生活						
豊田3Aプログラムの会	地域住民	35,118	地活				5,681		
	30名		包括	5,681					
	無料		介護	21,132				21,132	
			生活	8,305				8,305	
ロボどもの会	キャラバンメイト	0	地活						
	10名		包括						
			介護						
			生活						
権利擁護相談会	地域住民	0	地活						
	4名		包括						
	無料		介護						
			生活						
介護者の集い ～親の介護～	親の介護者 当事者	0	地活						
	10名		包括						
			介護						
			生活						
薬剤師会との懇談会	介護サービス事業所	0	地活						
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市豊田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
地域の勉強会	地域住民	0	地活						
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ケアマネ勉強会 ～介護報酬改定について～	ケアマネジャー	0	地活						
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
講座 ～健康寿命の鍵はフレイル予防～	介護保険サービス事業所	0	地活						
	60名		包括						
	無料		介護						
			生活						
講座 ～サービスBってなんだろう～	ケアマネジャー	0	地活						
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ハートページの読み方講座	ケアマネジャー	0	地活						
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
新任ケアマネ研修	新任ケアマネジャー	0	地活						
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
出前講座	サロン	24,909	地活				24,909		
	40名/1回		包括						
	無料		介護						24,909
			生活						
豊田レコード喫茶	地域住民	116,278	地活						
	30名		包括						
	200円		介護						
			生活						59,878
AIAIAIの会	地域住民	22,826	地活						
	15名		包括						
	100円		介護						6,720
			生活						3,906
よこはまシニアボランティア アポイント登録研修会	65歳以上地域住民	0	地活						
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
若年性認知症 栄区の集い	若年性認知症本人・家族	0	地活						
	20組		包括						
	300～500円		介護						
			生活						
地域支え合い講座	地域住民	0	地活						
	50名		包括						
	無料		介護						
			生活						
権利擁護講座 ～プロに学ぶ 成年後見から遺言まで～	地域住民	0	地活						
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市豊田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ご近所茶話会	<p>【目的】 参加者同士や参加者とボランティアとの交流を通し、身近な地域での支えあい関係を作りこを目的とします。また、地域で安否確認できる見守りの場の一つとして開催しました。</p> <p>【内容】 高齢者の交流サロン。各回体操やその月ごとに計画されたプログラム(ゲームや工作等)を行い、和菓子を食べながらお喋りし、交流を図りました。</p>	<p>(第3水曜日開催)</p> <p>4/18・5/16・6/20 7/18・10/17 11/14・12/19 1/16・2/20・3/20</p> <p>10回/年</p>

事業名	目的・内容	
ご近所茶話会 (昼食会)	<p>【目的】 通常の茶話会の拡大版。茶話会への参加のきっかけづくりや閉じこもりを予防するため開催しました。</p> <p>【内容】 9月の敬老週間に合わせ、昼食会を開催。地域のボランティア活動団体の発表の場としました。</p>	<p>9/19</p> <p>1回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てティーサロン	<p>【目的】 子育て中の不安の解消、保護者同士の仲間作りを目的とし、開催しました。</p> <p>【内容】 子育て中の保護者同士の交流、子育てに関する情報交換を行いました。 ボランティア「まつぼっくりの会」のメンバーが、親子の傾聴、親子のできる遊び、読み聞かせ等を実施しました。</p>	<p>(毎月2回開催)</p> <p>4/6 20 5/4 18 6/1 15 7/6 20 8/3 17 9/7 21 10/5 19 11/2 16 12/7 21 1/18 2/1 15 3/1 15 23回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あそび場テラス	<p>【目的】 テラスの利用や、子育てサークル活動の場の提供をしました。</p> <p>【内容】 夏に、子育てサークル対象としたプール遊びを、テラスを利用して行いました。</p>	<p>7/23 29 31 8/2 4 8</p> <p>6回/年</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障害児余暇支援	<p>【目的】 余暇支援を目的に障害児やその家族、地域との交流を図りました。また豊田地区およびその周辺地区からも参加者を増やし、広く周知していくために笠間地域ケアプラザと共催しました。</p> <p>【内容】 地区内の小中学校の特別支援級と本郷特別支援学校の児童生徒を対象に、季節行事を取り入れたプログラムを行いました。</p>	8/5 10/21 12/15 3/24

事業名	目的・内容	実施時期・回数
身近な地域でボランティア 豊田夏ボラ講座	<p>【目的】青少年に向けて地域活動やボランティア活動の啓発、担い手の発掘を目的として開催しました。</p> <p>【内容】地域の中学生を中心に豊田地域活動を体験する講座としてオリエンテーション、地域体験、振り返りを行いました。また年間を通じて、継続してボランティア活動にかかわってもらえるよう、「ボランティア活動記録カード」を配布しました。</p>	7/24 ~8/22 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豊田地域ケアプラザ 秋祭り	<p>【目的】地域住民やケアプラザを利用する団体等の交流とケアプラザの周知を目的に開催しました。</p> <p>【内容】豊田地区社協、隣接している豊田地区センターと共催し、会場利用団体の協力のもと行いました。模擬店やお楽しみコーナーの設置や会場利用団体の活動発表も行いました。又地区センターと共通のスタンブラーも行き参加者増となりました。開設25周年を記念し、マスコットキャラクターのお披露目と表彰を行いました</p>	10/7 1回/年

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>【目的】 ケアプラザに登録、活動しているボランティア同士の交流の場を設けるとともに、ケアプラザから出席者に対し日頃の活動への感謝の意を伝えました。</p> <p>【内容】 ボランティア同士の懇談の場を設けるとともに、感謝状をお渡しして日頃の活動に敬意を表しました。</p>	3/16 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ便りの発行	<p>今年度よりカラー印刷とし、写真を多めにするなど目を引くレイアウト作りを行った。 「豊田の福祉を伝える広報紙」と位置づけ、ケアプラザのことだけでなく、地区内の様々な活動を紹介した。また登録団体の活動紹介記事や会場利用について、イベント開催情報なども掲載した。</p>	12回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豊田スタイル	<p>【目的】 介護予防を目的に気軽に集まり、交流できる場、仲間づくりの場の提供を行いました。 様々なプログラムを通してグループとして地域活動に参加し、担い手となることを目的として講座を開催しました。</p> <p>【内容】 趣味活動やボランティア活動につながる情報提供や、実際に体験してもらう講座を開催しました。傾聴編の参加者についてはデイサービスにて実習も行いました。</p>	

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン連絡会	<p>【目的】 豊田エリア内のミニデイ・サロン実施団体及び地区社協との連携と情報共有を目的に実施。</p> <p>【内容】 豊田地区で実施されているサロンおよびミニデイサービスの又各サロンの担い手を対象とし、サロンで利用できるゲームや体操などの情報提供を行った。また第2回は歯科衛生士を講師に招き、口腔ケアについての講座を行った。</p>	<p>8/24 1/30</p> <p>2回/年</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
会場利用団体連絡	<p>【目的】 ケアプラザの会場利用団体の情報交換と利用上の課題を共有し、地域の団体が使いやすい施設を目指し開催し、避難経路の確認も行いました。</p> <p>【内容】 福祉保健活動団体について、ボランティア活動について、ケアプラザの利用方法についてなどを再確認しました。また、発災時のための避難経路の確認も行いました。</p>	<p>12/6 10 18</p> <p>3回/年</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市豊田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子の広場 ぽっかぽか	<p>【目的】 地域内で親子で安全に過ごせる場を提供しました。また子育て支援として、保護者同士の交流や情報交換を目的として開催しました。</p> <p>【内容】 自由に親子で過ごせるフリースペースとして、10時～14時までオープンします。12時～13時はお弁当タイム。7、8月はプール遊びを行いました。豊田地区更生保護女性会の会員が中心となりボランティアとして会場内で見守り活動を行いました。</p>	4/10 5/8 6/12 7/10 8/7 14 9/11 10/9 11/3 12/11 1/8 2/12 3/12 13回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ガーデニング部	<p>【目的】 認知症の人や引きこもりがちの方が気軽に参加できる居場所づくりとして実施した。特に認知症の人と一緒にボランティアが活動することで、認知症の人の社会参加や生きがいづくりにつなげる。</p> <p>【内容】 ケアプラザの裏にプランターを並べて、野菜作り。</p>	5/17、6/7、7/12、 8/9、9/13、 10/11、11/8、 12/13、1/10、 2/14、3/14 11回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
たまり場とよだ	<p>【目的】 こどもたちのために学校や家庭以外に安心できる居場所をつくる。</p> <p>【内容】 月1回第2木曜日の16:00～19:00に地区センター内に場所を借り食提供と遊び、学びのコーナーを設け活動を行いました。</p>	7/12 8/9 9/14 10/11 11/8 12/13 1/10 2/14 3/14 9回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い お茶べりサロン クローバー	<p>【目的】 介護者が孤立せずに自宅介護が続けられるよう、精神面の支援の一環として、役に立つ情報提供および介護者同士の情報交換や仲間づくりを目的に定期的に開催しました。</p> <p>【内容】 介護に役立つ講座や配食サービスの紹介、施設訪問等を行いました。また本人プログラムとして折り紙等、簡単な作業を行いました。交流会として7月は流しそうめん、12月は望年会を行った。</p>	6/21、7/26、 8/30、9/20、 10/25、11/29、 12/27、1/31、 2/21、3/28 10回/年

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域ケア会議	<p>【目的】 地域包括ケアシステムの構築を目的に、地域住民、介護医療の専門職等が集まり地域課題について話し合いをした。</p> <p>【内容】 1回目は、豊田地区の救急搬送の現状把握という議題で、包括レベルで開催。2回目は、高齢者と同居している気になる家族を考えるとという議題で、包括レベルで開催。3回目は、個別レベルとしてケースの検討をした。</p>	11/20、3/2、3/29 3回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虐待出前講座	<p>【目的】 福祉支援者向けに虐待に関する知識を伝え、未然に防ぐことができるように講座を開催した。</p> <p>【内容】 区内6地域包括支援センターの社会福祉士が共催となり、依頼に応じて講座を開催。虐待の定義や予防方法を質疑応答を踏まえながら実施した。</p>	6/21、7/25、 9/25、10/30、 10/31、2/28 6回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豊田スクエアステップ	<p>【目的】 運動を通して、転倒予防、認知症予防に繋げ、栄区の一般高齢者に向け介護予防の普及啓発と特定高齢者の把握を行う。</p> <p>【内容】 スクエアステップのルールのもと体を動かし、動きを覚える事で脳の活性化、認知症予防の効果を狙う。</p>	4/9 23 5/14 28 6/11 25 7/9 23 7/9 23 8/6 27 9/3 10 10/1 15 11/12 11/26 12/3 17 1/7 21 2/4 18 3/4 18 24回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豊田3Aプログラムの会	<p>【目的】 スリーAプログラムを定期的で開催し、認知症予防と居場所づくりに取り組みました。</p> <p>【内容】 3Aプログラムを地域住民むけに定期的で開催し、認知症予防を進めるとともに居場所作りを行いました。またケアプラザの機能を周知し、気軽に相談できる体制を作りました。</p>	4/13,27 5/11,25 6/8,22 7/13,27 8/10,24 9/14,28 10/12,26 11/2,16 12/14,28 1/11,25 2/8,22 3/8,22 24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ロバとも★とよだ	<p>【目的】 認知症キャラバン・メイト同士の関係性の構築とともに、認知症の理解・普及啓発を行う。</p> <p>【内容】 連絡会の開催、認知症サポーター養成講座の開催等</p>	連絡会(5回開催) 10/29、11/12、 11/26、1/28、3/7 サポーター講座 (1回開催) ネクサスコート本郷台 12/6

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護相談会	<p>【目的】 地域住民が成年後見制度や遺言等について相談できる場所として、無料の相談会を開催する。</p> <p>【内容】 区内6地域包括支援センターの社会福祉士が共催となって、相談会を開催した。司法書士の先生に来てもらい、成年後見制度や遺言等についての相談会として開催。4名の参加があり。</p>	10/20 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い ～親の介護～	<p>【目的】 親の介護されている方を対象に、介護している上での悩みや不安を話してもらう場所として開催。</p> <p>【内容】 両親・義理の両親を介護されている方を対象として開催。日頃介護している中で感じる悩みやストレスを発散してもらう懇談会を実施。ミニ講座として、介護保険制度についてパワーポイントを使い説明した。7名の参加あり。</p>	11/17 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
薬剤師との懇談会	<p>【目的】 豊田地区で活動しているケアマネジャー及びサービス事業所を対象として、豊田地区薬剤師会と顔の見える関係性を更に強くすることにより、今後の業務での連携や協力を図ることができるよう懇談会を開催</p> <p>【内容】 ①平成30年度 診療報酬改定 注意する点や知識 *日頃薬剤師として居宅療養管理指導を行う上での事例共有など ②医師と薬剤師との連携</p>	①7/23 ②3/18 2回/年

平成30年度 自主事業報告書

横浜市豊田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域の勉強会	<p>【目的】 田谷町・長尾台町・金井町にて地域住民を対象として、いくつになっても好奇心を失わず、新しいことにチャレンジしていく気持ちを持ち続けてもらうことが老化を遅らせるコツであるという内容認知症や生活リハビリに焦点を当てて勉強会を開催。</p> <p>【内容】 ①認知症の理解 ②生活リハビリテーションと認知症予防 ③生活リハビリテーション</p>	<p>①7/5 ②11/15 ③2/27</p> <p>3回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ勉強会 ～介護報酬改定 について～	<p>【目的】 栄区内で活動しているケアマネジャー及びサービス事業所を対象として、平成30年介護保険改正における改定事項について、サービス事業所から直接説明を受ける機会を懇談形式にて意見交換</p> <p>【内容】 介護報酬改定について～サービス事業者に聞いてみよう！～ 訪問看護(セコム訪問看護ステーション サテライト湘南) 訪問リハビリ(野村医院) 通所リハビリ・老人保健施設・ショートステイ(ケアポート・田谷)</p>	<p>7/20</p> <p>1回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
講座 ～健康寿命の鍵は フレイル予防～	<p>【目的】 栄区内で活動しているケアマネジャー事業所およびサービス事業所で働く職員を対象として、フレイル予防に大切な運動機能や栄養摂取について医師や管理栄養士による講義と事例検討会を開催。</p> <p>【内容】 健康長寿の鍵はフレイル予防 ～運動と栄養・介護食について～</p>	<p>9/26</p> <p>1回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
講座 ～サービスBってな んだらう～	<p>【目的】 平成29年10月から開始された横浜市の介護予防・生活支援サービス事業について、栄区で最初にサービスB(通所型支援・配食支援)の提供されているサービスについて、豊田地区で活動している居宅介護支援事業所を対象として説明と懇談会を開催。</p> <p>【内容】 * サービスBってなんだらう ～介護予防・生活支援サービス事業について知ろう～</p>	<p>8/30</p> <p>1回/年</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ハートページの読み方講座	<p>【目的】 相談対応する際やサービス選定をする際に利用するハートページには、様々な情報が掲載されているが、実際に利用する介護負担軽減サービスについて、ケアマネジャーに理解をしてもらうために開催</p> <p>【内容】 栄区内で就労されているケアマネジャーの方を対象に、ハートページに掲載されているサービスの利用者負担について、栄区保険年金課の職員が講師として行う勉強会を実施</p>	<p>①1/29 ②2/13</p> <p>2回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任ケアマネ研修	<p>【目的】 栄区内で就労されている1年未満のケアマネジャー及び就労予定の方を対象に、今後の業務に活かすことを目的に新任ケアマネジャー研修を実施</p> <p>【内容】 ①主任ケアマネジャーに聞く ケアマネのいろは インテーク・アセスメント・連携について ②福祉機器支援センターに行こう</p>	<p>①7/24 ②11/27</p> <p>2回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	<p>【目的】 認知症予防、介護予防啓発のための講座として開催した</p> <p>【内容】 地区内のサロン2か所に音楽療法の講座、1か所に口腔ケア講座を実施した</p>	<p>4/26 7/13 9/13 3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豊田レコード喫茶	<p>【目的】 個別支援、地域支援を展開するため、孤立しがちな、主に男性が参加できるサロンを開催しました。事業を通して新たな担い手の発掘、活動場所の提供を行うことを目的としました。</p> <p>【内容】 レコードを聴きながら、コーヒーやおしゃべりを楽しむ、交流の場を提供します。またケアプラザの周知と気軽に相談できる体制も整えます。</p>	<p>4/9 5/14 6/11 7/9 8/13 9/10 11/12 12/10 1/14 2/11 3/11 12回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
AIAIAIの会	<p>【目的】 身近な場所で3Aプログラムを定期的で開催し、認知症予防・介護予防・居場所づくりにつながることを目的としました。</p> <p>【内容】 地域住民むけに定期的で開催することにより、より身近なところに居場所を増やし、地域で見守り合う体制作りを行いました。</p>	<p>4/25 5/23 6/27 7/25 8/22 9/26 10/24 11/28 12/26 1/23 2/27 3/27 12回</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	<p>【目的】 65歳以上の方を対象にボランティア登録研修会を区内6ケアプラザで持ち回りで開催しました。ボランティア活動による、健康づくり、生きがいづくり、社会貢献の意識を持つことを目的としました。</p> <p>【内容】 制度の説明、ボランティア活動の基本等を講義し、ボランティア登録を行いました。</p>	<p>10/28</p> <p>1回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症 栄区の集い	<p>【目的】 栄区内ケアプラザ6館が協力し、若年性認知症の人とその家族を支援を目的として「笑風の会」を開催しました。</p> <p>【内容】 若年性認知症の方と家族の集いを栄区内6地域ケアプラザ共催、関係機関の協力を得て実施しました。家族同士で話し合う場を設けると共に、ご本人の会ではレクリエーション等のプログラムを提供しました。</p>	<p>6/24 11/25 2/17</p> <p>3回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支え合い講座	<p>【目的】 支え合い連絡会、見守りネットワーク委員会と共催し、地域での見守りの体制づくりの推進を目的に開催しました</p> <p>【内容】 認知症についての理解を啓発するために当事者に講師依頼をし、講座を開催しました。</p>	<p>12/12</p> <p>1回/年</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
権利擁護講座 ～プロに学ぶ 成年後見から遺言まで～	<p>【目的】 地域住民が必要になった時に困らないように、成年後見制度や遺言等に関する講座を開催した。</p> <p>【内容】 専門家である司法書士の先生が講師となり、講座を開催。成年後見制度や遺言等について資料を使い、説明をした。27名の参加あり。</p>	<p>9/29</p> <p>1回/年</p>